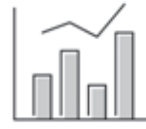


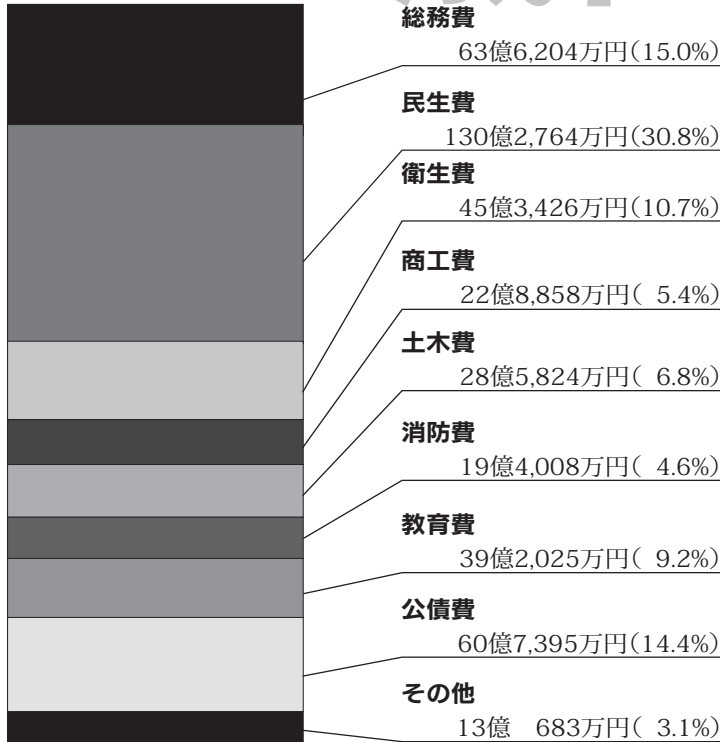
# 令和4年度

# 決算報告



歳出 423億1,187万円

# 歳出



差引額 20億7,263万円

9月に開催された市議会で、令和4年度の一般会計と特別会計(7会計)、水道事業会計、下水道事業会計合わせて10会計の決算が認定されました。

今回は、その内容をお知らせします。

▼ **一般会計**  
令和4年度の一般会計の決算額は、歳入が443億8、450万円(対前年度比6・0%減)、歳出が423億1、187万円(対前年度比6・6%減)でした。  
差引額は前年度比82・9%増の20億7、263万円で、令和5年度へ繰り越しとなります。  
歳入のうち、市税など市の自主的な

収入である自主財源は197億1、769万円(44・5%)、国や県から交付される地方交付税や国庫・県支出金、市の借金である市債などの依存財源は246億6、681万円(55・5%)でした。なお、財政調整基金の取り崩しは行いませんでした。  
歳出は、民生費が130億2、764万円(30・8%)、総務費が63億6、204万円(15・0%)、公債費が60億7、395万円(14・4%)、衛生費が45億3、426万円(10・7%)などの順となりました。

▼ **特別会計**

令和4年度の特別会計(7会計)の決算額は、歳入が183億3、806万円で対前年度比0・5%の増、歳出が176億731万円で対前年度比0・7%の減となりました。  
差引額の7億3、075万円は令和5年度へ繰り越しとなります。

▼ **水道事業会計**

令和4年度の収益的収支における収入は20億670万円(消費税込み)、支出は19億3、648万円(消費税込み)で、差し引き7、022万円となり、消費税を抜いた純損失は1、979万円となりました。資本的収支における収入は7億9、746万円、支出は16億229万円(消費税込み)でした。差し引き8億483万円の不足は過年度分損益勘定留保資金(※1)などで補いました。

水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
収益的収支(※2)	水道料金	17億1,340万円	借入金の利息返済	1億 349万円	7,022万円
	その他	2億9,330万円	減価償却費	9億3,431万円	
			その他	8億9,868万円	
	<b>合計</b>	<b>20億 670万円</b>	<b>合計</b>	<b>19億3,648万円</b>	
資本的収支(※3)	国などからの補助金	1億 923万円	施設などの整備費用	9億8,057万円	▲8億 483万円(※4)
	国などからの借入金	6億4,020万円	借入金の元金返済	6億2,172万円	
	その他	4,803万円			
	<b>合計</b>	<b>7億9,746万円</b>	<b>合計</b>	<b>16億 229万円</b>	

※1 損益勘定留保資金…減価償却費など現金支出を伴わない費用。

※2 収益的収支…事業運営を目的とした収入・支出のこと。

※3 資本的収支…施設整備を目的とした収入・支出のこと。

※4 ▲はマイナス、すべて消費税込みの金額。

## 1人あたりに使われたお金の内訳

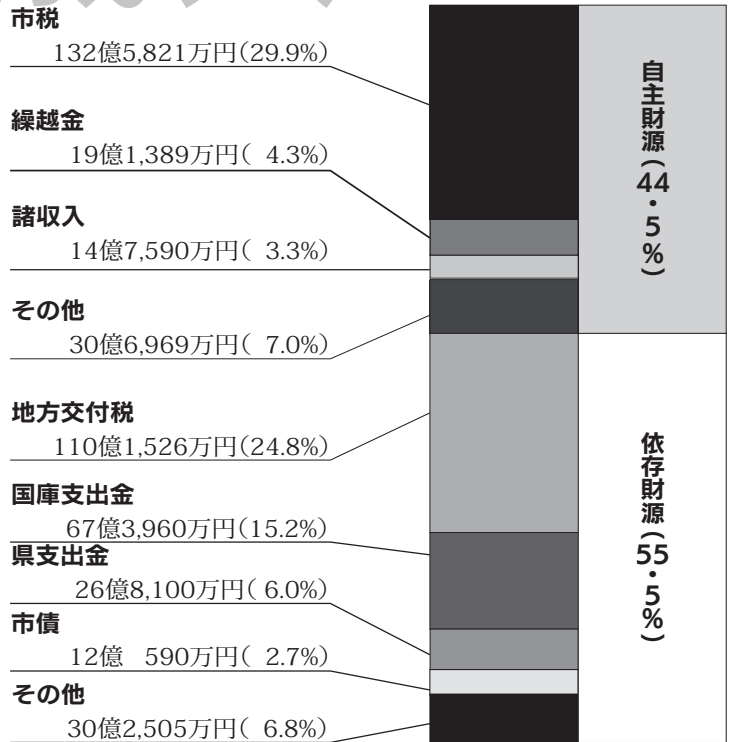
使われたお金を市民1人あたりに分けてみると54万8,415円で、内訳は下のとおりです。  
※令和5年3月31日現在の住民基本台帳人口7万7,153人で計算しています。

<b>総務費</b> 82,460円	企画や税金、新型コロナウイルス感染症対策などの事務に関する経費
<b>民生費</b> 168,855円	子どもや高齢者、障がいのある方などを援助するための経費
<b>衛生費</b> 58,770円	市民の皆さんの健康を守ったり、ごみを処理したりするための経費
<b>工商費</b> 29,663円	商工業の支援や育成、観光施設の整備を行うための経費
<b>土木費</b> 37,046円	道路や市街地、市営住宅などの整備や管理をするための経費
<b>消防費</b> 25,146円	消防活動や防火水槽の設置などを行うための経費
<b>教育費</b> 50,811円	学校運営や社会教育、文化・スポーツを充実させるための経費
<b>公債費</b> 78,726円	借入れをした市債の元金や利子の返済金
<b>その他</b> 16,938円	議会費、労働費、農林水産業費など

## 一般会計決算額

# 歳入

歳入 443億8,450万円



## 特別会計決算額

事業	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	89億3,650万円	85億9,099万円	3億4,551万円
後期高齢者医療	12億 11万円	11億9,900万円	111万円
介護保険	79億 565万円	75億3,533万円	3億7,032万円
診療所	1億4,794万円	1億4,158万円	636万円
温泉	8,161万円	7,584万円	577万円
銅山観光	6,625万円	6,457万円	168万円
公共用地先行取得	0円	0円	0円
<b>合計</b>	<b>183億3,806万円</b>	<b>176億 731万円</b>	<b>7億3,075万円</b>

▼下水道事業会計  
令和4年度の収益的収支における収入は26億4,459万円(消費税込み)、支出は22億4,625万円(消費税込み)で、差し引き3億9,834万円となり、消費税を抜いた純利益は3億8,249万円となりました。  
資本的収支における収入は8億7,386万円、支出は16億9,961万円(消費税込み)でした。差し引き8億2,575万円の不足は当年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

## 下水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
収益的収支(※2)	下水道料金	13億9,077万円	借入金の利息返済	1億4,161万円	3億9,834万円
	その他	12億5,382万円	減価償却費	12億 751万円	
			その他	8億9,713万円	
	<b>合計</b>	<b>26億4,459万円</b>	<b>合計</b>	<b>22億4,625万円</b>	
資本的収支(※3)	国などからの補助金	8,713万円	施設などの整備費用	4億1,239万円	▲8億2,575万円(※4)
	国などからの借入金	5億 110万円	借入金の元金返済	12億8,722万円	
	その他	2億8,563万円			
	<b>合計</b>	<b>8億7,386万円</b>	<b>合計</b>	<b>16億9,961万円</b>	

くわしくは… 一般会計と特別会計について… 財政課 ☎0288-21-5162  
水道事業会計について… 水道課 ☎0288-21-4532  
下水道事業会計について… 下水道課 ☎0288-21-5150